

今後研究会として取り組むべきテーマ

H21年度

岡山県在住外国人生活状況調査

H22年度

岡山多文化共生政策研究会研究報告

多文化共生社会づくりを進める視点

- ①地域性、国籍、在留資格など特性に合わせた支援
 - ・集住と散住、高齢化、研修生問題が顕在化していないことなど
- ②コミュニケーション支援、日本語学習機会の必要性
 - ・言葉の問題が一番だが日本語教室が利用されていないことなど
- ③生活のそれぞれの場面での支援
 - ・日系ブラジル人の就職での言葉の支援が必要なことなど
- ④留学生の増加と高度人材としての活用
 - ・地域の発展のための留学生等の人材活用の必要なことなど
- ⑤推進体制
 - ・相談窓口・機関の横の連携が不足していることなど

H23年度

～

今後取り組むべきテーマ

テーマ
の候補

日本語学習支援

留学生支援

多文化共生推進に係る人材育成